

ここの場所を魅力のある住居地域にしています。ここは緑の軸に含まれた1つのゾーンになっています。だから、この少し上に行くと、きのうお見せしたローマの円形劇場みたいなものあって、それをちょっと見ながらこちらの方に戻ってきます。

○池田議員 このライネフェルデにはスポーツクラブはどれぐらいあるんですか。

○説明者 ハンドボール、それからサッカー、柔道、その他もろもろで、35クラブあります。

子ども、それから青少年、その他のいろんな年齢に応じたクラブ、例えばサッカーなんかあって、それぞれこの辺の郡とかの地域リーグで結構活躍しています。

○土師議員 ライネフェルデの環境政策ですが、特にそれを意識してつくっているとか、太陽が少ないから、そういうことでしょうか。パッシブハウスとか。

○説明者 それはありますよ、いくらでも。後で、きょう見にいきますけれども、多分、今のところは、住宅なんかでは、余りありません。

○土師議員 ガラス張りが多い、学校があったじゃないですか。

○説明者 いや、むしろ断熱材を外壁につけていくというのが、むだな熱を使わなくていいように再生していくというのが、住宅なんかではそうですね。

それに、新築だったら、新しいヒートポンプだとかということを考えられますけれども、古い建物をリニューアルする場合は、やっぱりちょっと難しいです。

○土師議員 断熱材を外壁につけているとか、そういう手法なのですね。

○説明者 それはもう確実にやっていますね、今。それから、サッシですね。もちろん、ガラスの窓は断熱ガラスにしますし、サッシは金属じゃなくて木材ですね。

それをやれば、かなりというか、本当に冬の暖房費というのは物すごく節約できます。



- 説明者 ここは「芝生のシアター」という名前がついているんですけども、夏には青少年の楽団、それからロックバンドなんかコンサートをやったり、それから芝居をやったり、映画会をやったり、夏の夜にそういう催しをここで行っております。
- 西議員 家賃は上がっていませんか、利用者の皆さんは。一部は上がっているんですか。
- 説明者 多少は高くなったんですけども、このあたり、今見えているあたりの平方メートル当たりの家賃というのは3.5ユーロで、4ユーロ以下です。だから、1平米当たり500円、100平米でも5万円です。
- 中井議員 平均何平米あるんですかね。
- 説明者 45平米から始まって115ぐらいが一番大きい。それで、一番クオリティーが高い住居で、1平米当たりの家賃が5ユーロぐらいです。ですから、昔に比べれば少しは高いんですけども、このあたりでも、質に比べれば十分安いです。
- 中井議員 こちらの住宅は家賃で維持費なんかはペイできているんですか。
- 説明者 維持管理というのは別にしても、いわゆるこちらでは暖房費の入らない家賃で、それから暖房、ごみ収集、その他、そういう細かいものを入れると、大体それに1ユーロぐらいつきます。1平方メートル当たり。

(日本庭園)



- 中井議員 この日本庭園は、現地の人たちにとってどんなものですか。
- 説明者 やっぱり非常に特別なもので、非常にこれはあつてうれしいもんですし、それから友達が来たり客が来たら、必ず連れていっている。

それから、ここに面した住居にかなり入りたいという人が多いということは前に聞きました。それと、これがきのうの1棟をとって、ここに5階建ての建物があったやつを1階まで減築して、住宅公社の事務所になっているところです。向こうの方は、長い建物を切ってヴィラの形に、ポイントハウスにしました。



○中井議員 これは入るのに有料ですか。

○説明者 これはもともとやるつもりはなかったんですけども、やっぱり青少年が少しいたずらがあるということで、10円ぐらいですけどもね、形だけもらっています。

余りお金がなかったものですから、ここを使うときに一緒に使うということのコンセプトでつくったんです。ここにお金をかけて、あっちの方は少しお金をかけないようにしてといて。ここを使う人がこれを使えるよということで、ここを使う率がすごく多くなったんです。だからいろんなパーティができるんですよ。結婚パーティだとか、誕生日パーティだとか、いろんな子どもの入学だとか。自分の家でやれないから、人をいっぱい呼んでやるというときに、そういう場所なんです、ここが。下にキッチンがあって、食事もできると、そういう人たちはここは自由に使っていていいですよということになったんで、その影響もあって、随分、この貸し率が上がりました。これ、ちょっと見ていただくとわかりますけれども、あそこの擁壁に、ここもそうなんですけれども、壊したパネルを再利用しています。

○中井議員 こちらの古い住宅というのは、パネルの組み立てをしてあるんですか。

○説明者 この手のやつはみんなそうですよ。学校もそうですし。

○中井議員 現場打ちのコンクリートと違うのですか。

○説明者 違います。工場生産ですから。



○池田議員 この工事の施工能力というのはどうなんでしょうか。

○説明者 いわゆるコンクリートパネル工法に関しては、ドイツが壁崩壊後でも、やっぱり東ドイツの技術というのはすごかったんです。

コンクリート自体の生産能力と、それからその施工能力というのは、かつての西ドイツよりも高かったと言っていいぐらいです。そのほかの技術に関しては多分低かったんでしょうけれども、断トツです。

今はもうほとんど形は違っていますけれども、やっぱり早くできますから、コンクリートでつくるときよりも、やっぱりパネル工法が多いんです。それでも、やっぱり東ドイツの方の会社が強いです。

(都市軸のデザイン)

○説明者 あれはデザインです。もともとは棟が離れていたんですけれども、ああやると、何か門があって、これは都市軸なんですよ、1つの。だから、その1つのやっぱりわかりやすいように屋根をつけています。



(ゾンネンシャイン幼稚園)

○説明者 100人の児童のための幼稚園で、6つのグループに分けています。それで、3年前から改装を始めて、去年から幼稚園として始めました。

もともと幼稚園だったんですけども、それが古くなったし、それからいろんなところの改造をしなければいけないと、これはリニューアルされたものです。



○土師議員 これは私立ですか、公立ですか。

○説明者 ドイツ赤十字の経営です。1歳児から小学校に上がるまでですから、6歳までですね。ここは、一応子どもの体育館として使っています。いろんなゲームをやったり運動をやったりする場所です。夏には、外で運動したり遊びを、ここの部屋の中から外まで広げたりということもできます。

ここで、子どもたちは自分の生活を、日本でも同じでしょうけれども、生活を教わるわけです。家に入ってきたら、靴を脱いで、コートを脱いで、それでお部屋に入りますという形を教えるわけです。

6つのグループの部屋があるわけで、それぞれの部屋に必ず、多分建て増しの部分だと思うんですけども、自分のお家、隠れ家みたいなのがあったりします。

それぞれのグループごとの部屋から外にも直接アプローチできます。

音響のために、余りうるさくならないような設備もしております。屋根を、天井を違う材料で張ったりして。子どもたち、やっぱりトイレのしつけなんかもしなければいけないので、それぞれのグループにはトイレもありますし、それからちゃんと手洗いも勉強もします。



○中井議員 保育料は大体どのぐらいになるんですか。

○説明者 1人の子どもで月110ユーロです。プラス食事代として、1食事1.5ユーロです。幼稚園は、市営のものはここはないんです。すべて、例えば教会の関係だとか赤十字だとか、そういう経営者で、今の料金に関しては、すべての幼稚園で均一になっています。

○西議員 足りない分は赤十字が出しているんですか。

○説明者 そういうことです。

○西議員 市からは、お金は出ていますか。

○説明者 市も援助に参加しています。

○池田議員 教育方針とか、赤十字ということで、あえて何か独自のものがありますか。

○説明者 教会関係の幼稚園なんかと比べると、やっぱり教育方針に違いがあります。

例えば、教会関係の幼稚園であれば、食事の前に祈ったりする。そういうことはしないし、ここではむしろ子どもたちが自分たちで規律を守りながら生活していけるように、生活指導をするということに重きを置いています。

それから、ドイツは小学校もそうなんですけど、むしろどっちかという遊ばせるというのが主なんですけれども、この場合は、それだけじゃなくて、例えば字を覚えるとか、少し算数をやるとか、そういう形での勉強の部分も自分たちは重要視しています。

そのほか何かご質問ありますか。

○中井議員 ありがとうございます。



○説明者 ここは大分改装が進んでいる部分で、こっちの方を見ていただくと、ちょっとまだ残っています。多分、後ろの方の改装されてないやつは、そのうち撤去される運命にある建物です。ですから、随分景観も変わってくるはずですよ。

3階になっている部分というのが、以前はこれは6階ぐらいあったわけです。そうすると、何か全然感じが違います。

○土師議員 やっぱり高さが低くなることによって、景観は違いますね。圧迫感を感じない。

○説明者 感じないし、これは本当にどこか大都市の近郊のきれいなベッドタウンというような感じがします。

- 中井議員 長い年数がかかってされているでしょうから、今までの投資価格というのはどれくらいでしょうか。
- 説明者 1億6,400万ユーロです。市が出したものの、それから恐らくプライベートなどころから出た可能性のあるものも含めて、建物、オープンスペース、その他にかけられた費用です。600ユーロ/平方メートルで全ての改装、その他をやってくれという基準が州から出されていました。
- 中井議員 工事単価がね、1平方メートル当たり600ユーロということですか。
- 説明者 平均ですね。物によっては、当然それよりも多い資本投下しなければいけない部分もあったし、それ以下でできたものもあります。
- 西議員 プライベートなどころから出ているというのは、例えばどんなものですか。
- 説明者 例えば、今、あそこの「E」と書いてあるのは薬屋なんです。ああいうのは自分のお金を出してあそこに薬屋を出したと、それも一応このお金の中に含めています。
- 土師議員 1億6,400万ユーロが総事業費ですが、採算というんでしょうか、市の持ち出しというのはどれくらいでしょうか。
- 説明者 このうちの5%ぐらいが多分プライベートだったものだろうと考えられますが、市が出したと言っても、ここのライネフェルデ市の税金というふうに考えられてもらっては困るんで、そんなお金はありません。それは、州、それから連邦及びEUからの助成金で賄っています。でも市を通して出しているわけですから、市が出したというふうに見えます。
- 西議員 賃料も上がったということですか。
- 説明者 少なくとも、住民にとって困るという額の上がり方はしていません。
- 西議員 EUの予算項目というのはどういう項目から決まっているんですか、地域の再開発とかいろいろ費目がありますか。
- 説明者 いわゆる、特にエコロジカルな開発をするということをいうと、そのやり方にもよりますけれども、そういう金があるんですよ。
- 西議員 エコロジカルな開発というのは、これはどういうものですか。
- 説明者 言い方によるんですけども、エネルギーを使わないようにするために、外壁に断熱材をつけてというようなことも、それは大きな目で見ればエコロジカルなものですから、その他、ゼロエネルギーにするだとか、それから環境に優しいような形で開発をするというような、その個々のプロジェクトでそういう理由づけをすればいいわけです。
- それでは、市庁舎に戻ります。